

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 07 02	中期総合計画主要施策番号		3 - 02		担当課	部・課	衛生部病院事業局		
事業名		小児医療後期臨床研修推進事業				内線		2627			
						E-mail		kenbyoin@pref.nagano.jp			
事業の概要等	事業の目的	県立こども病院において、後期臨床研修体制を整備・拡充し、全国から小児科を希望する研修医を積極的に受け入れる。さらに、研修期間中に県内医療機関へ派遣することにより、県内の小児科医師確保の一翼を担う。									
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・県内医療機関においては、小児科勤務医が不足している。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・各科ごとに短期間での臨床研修は実施しているが、臨床研修全般にわたって統括するような体制が採られていない。 ・県内の小児科医養成機関として信州大学医学部はあるが、全国的な医師不足により勤務医の絶対数が不足している。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・H20年度募集定員8名に対して4名の応募であるため、研修指導体制を充実し、高度小児病院の特色を生かした魅力ある研修プログラムの提示により、多くの研修医に応募してもらう必要がある。 ・県内医療機関に研修医を派遣することにより、不足する小児科勤務医の確保を図る必要がある。									
		事業内容	・魅力ある研修プログラムを提示し、全国から研修医を受け入れる。(各年8名新規受入、研修期間3年) ・統括指導医を配置する。 ・研修期間中に研修医を県内医療機関へ派遣する。								
		実施期間	H20	～	H24	根拠法令等					
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
魅力ある研修プログラムの提示により、全国から小児科を希望する研修医を受け入れ、研修期間中に県内の医療機関へ派遣する。		研修医を8名受け入れる。 統括指導医を1名配置する。			研修医4名を受け入れた。 統括指導医を1名配置した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下				
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要				
	最終予算額 (A)		千円		35,711	89,043	国庫・県単	県単			
	決 算 額 (B)		千円		35,711		実施方法	直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円		22,322	49,112	歳出節別内訳等	報酬:35,166 環境整備費:545			
	概 算 人件費	従事する職員数	人		2.00	2.00					
	概算人件費 (C)		千円		14,298	14,298					
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円		50,009	103,341	(単位: 千円)					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績				
	研修医数		人		4	12					
	統括指導医数		人		1	1					
	派遣数		日		70	372					
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明								
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・県内における小児科勤務医不足が続いているため、より多くの研修医を受け入れ、派遣する必要がある。 ・研修プログラムを充実することで、より多くの研修医からの応募が期待できるため、有効性を高める余地が認められる。				
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
課題の総括		20年度は研修医4名を受け入れ、統括指導医1名を配置できたことで、11月からは県内の4病院へ研修医を派遣することができた。県内で不足する小児科勤務医確保のためにも、21年度においては、研修プログラムを充実し、より多くの研修医を受け入れる予定である。									